

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年7月21日)

- 建設技術実証フィールドのオープンについて

【技術企画課】……………2ページ

- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【技術企画課・道路企画課・道路建設課・河川課・治山砂防課】……………3ページ

県土整備部

建設技術実証フィールドのオープンについて

令和5年7月21日
技術企画課

鳥取県の建設分野における新技術導入を推進するため、鳥取大学浜坂キャンパスに整備を進めていた建設技術実証フィールドが6月末に完成し、鳥取砂丘月面環境実証フィールドとあわせて完成を祝したオープニングセレモニーを開催しましたので、報告します。

1 建設技術実証フィールドの概要

- (1) 整備面積 約0.5ha（隣接して鳥取砂丘月面環境実証フィールドが約0.5ha 整備されている。）
- (2) 活用目的
 - ・生産性向上に資する建設技術の県内企業への普及導入
 - ・建設業における次世代の担い手確保・育成に向けた魅力発信
 - ・建設分野における先進技術の検証

2 オープニングセレモニーの概要

- (1) 日時 令和5年7月7日（金）午後2時から午後4時30分まで
- (2) 参加者 (一社)鳥取県建設業協会、(一社)鳥取県土木施工管理技士会及び(一社)鳥取県測量設計業協会等の県内建設業の関係者並びに学生を含む鳥取大学の関係者（月面フィールドの関係者も含め総勢約100名が参加）
- (3) 内容

①基本協定締結式

平井知事と鳥取大学中島学長が、鳥取県における新産業創出と県内産業の高付加価値化による地方創生の実現を目的とした基本協定書の締結を行った。

②テープカット

フィールドオープンを記念し、平井知事、中島学長、井木会長（建設業協会）、澤会長（測量設計業協会）、宇宙関連企業2社関係者の計6名によるテープカットを行った。

<知事のコメント>

- ・このフィールドを活用して未来に向けた研究が出来るのは、本当に喜ばしいこと。
- ・これがきっかけとなって建設業の振興や雇用に繋がればと考えている。



③デモンストレーション

フィールド利用者に向けて、最新のドローン技術、ICT 建機、施工管理を効率化する IoT デバイスを使ったデモンストレーション（5演目）を行った。



ドローンの自律飛行とICT 建機を使ったデモ



スマートグラスを使った遠隔臨場のデモ



3次元データを活用した業務改善に関するプレゼンテーションに耳を傾ける大学生

3 今後の取組

- ・年間を通して計画的に既就労者向けの技術講習会（8月下旬以降、延べ20回、360人を対象に実施予定）を開催し、先端技術の導入による生産性の向上を目指す企業支援や、それらの技術を活用できる地域の担い手の確保・育成を継続して行う。
- ・「鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会」（H29.1～）を通じて大学生はもとより、小中学生や高校生にも先端技術に触れてもらうことで、若年層から既就労者に向けて建設産業の魅力と役割の発信に努めていく。
- ・橋梁やトンネルの点検及び補修に関する先端技術の検証と導入を開発企業と地元企業の交流を増やしながら進めていく。
- ・鳥取大学においても、産官学が連携する組織体制をつくり、技術導入、人材育成及び、さらなる学術研究を進めていく予定である。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
道路企画課 (鳥取県土整備事務所)	県道鳥取鹿野倉吉線(徳尾大橋)耐震補強工事(1工区)(補助橋補修)(国補正)	鳥取市徳尾	株式会社栗山組 代表取締役社長 栗山 和大	109,780,000円 (予定価格) 119,333,500円	令和5年6月9日 ～ 令和6年3月15日	令和5年6月9日	制限付 一般競争入札 (16社)
道路建設課 (鳥取県土整備事務所)	街路大工町土居叶線(大宮橋)(3工区)歩道設置工事(補助)及び耐震補強工事(補助橋補修)	鳥取市大覚寺～的場	大和・福上特定建設工事共同企業体 代表者 大和建设株式会社 取締役社長 影井 一清	329,560,000円 (予定価格) 359,515,200円	令和5年6月28日 ～ 令和6年7月19日	令和5年6月28日	制限付 一般競争入札 (2社)
河川課 (鳥取県土整備事務所)	塩見川広域河川改修工事(7工区)	鳥取市福部町細川	やまこう建設株式会社 代表取締役社長 岡田 幸一郎	178,750,000円 (予定価格) 195,050,900円	令和5年6月26日 ～ 令和6年3月15日	令和5年6月26日	制限付 一般競争入札 (15社)
河川課 (鳥取県土整備事務所)	浜村川河川改修工事(護岸工2工区)(国補正)	鳥取市鹿野町岡木	やすなが工事株式会社 代表取締役 世古 真道	98,890,000円 (予定価格) 107,539,300円	令和5年6月12日 ～ 令和6年2月6日	令和5年6月12日	制限付 一般競争入札 (17社)
河川課 (中部総合事務所 中部県土整備局)	東郷ダムメンテナンス工事(選択取水設備更新)	東伯郡湯梨浜町別所	豊国工業株式会社 中四国支店 支店長 米川 博之	104,500,000円 (予定価格) 105,039,000円	令和5年6月26日 ～ 令和6年3月22日	令和5年6月26日	制限付 一般競争入札 (1社)
治山砂防課 (中部総合事務所 中部県土整備局)	下西谷1地区急傾斜地崩壊対策工事(6工区)	東伯郡三朝町下西谷	株式会社晃進 代表取締役社長 中口 義文	97,900,000円 (予定価格) 106,528,400円	令和5年6月2日 ～ 令和6年1月30日	令和5年6月2日	制限付 一般競争入札 (6社)

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
技術企画課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	大谷川砂災害復旧工 事(3年災101号)	西伯郡 南部町 阿賀	美保テクノス株式会社 代表取締役社長 野津 健市	(当初契約額) 86,900,000円	令和4年9月30日 ～ 令和5年3月15日	(当初契約年月日) 令和4年9月29日	—
					(変更後工期) 令和5年6月30日	(第1回変更契約年月日) 令和5年3月7日	起工測量の結果、被災 法面の一部に深掘が判 明し、修正設計が必要と なったことによる工期の 延伸
				(第2回変更後契約額) 119,416,000円 (変更額) 32,516,000円	(変更後工期) 令和5年8月25日	(第2回変更契約年月日) 令和5年6月5日	・ICT施工の実施による 工事費の増 ・修正設計の結果、掘削 土量が増加したことによ る工事費の増及び工期 の延伸
道路企画課 (鳥取県土整備 事務所)	県道鳥取砂丘線(浜坂江 津橋)耐震補強工事(補 助橋補修)	鳥取市 浜坂	県道鳥取砂丘線(浜坂江津 橋)耐震補強工事(補助橋補 修)ピーエス三菱・國本建設特 定建設工事共同企業体 代表者 株式会社ピーエス三菱鳥取営 業所 所長 小倉 徳男	(当初契約額) 181,280,000円	令和4年7月7日 ～ 令和5年3月15日	(当初契約年月日) 令和4年7月7日	—
				(第1回変更後契約額) 193,503,200円 (変更額) 12,223,200円	(変更後工期) 令和5年6月9日	(第1回変更契約年月日) 令和5年3月3日	・現地測量の結果、P1橋 脚基礎部の堆積土の掘 削土量等が増えたこと による工事費の増 ・上記に伴い、施工日数 が増加したことによる工 期の延伸
				(第2回変更後契約額) 201,622,300円 (変更額) 8,119,100円		(第2回変更契約年月日) 令和5年6月6日	週休2日モデル工事实 施に伴う追加経費の計 上による工事費の増

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路企画課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	県道米子大山線(尾高橋)橋梁下部工事(A2橋台)(補助)	米子市 尾高	平井工業株式会社 代表取締役 平井 圭一	(当初契約額) 148,940,000円	令和4年9月20日 ～ 令和5年3月25日	(当初契約年月日) 令和4年9月16日	—
					(変更後工期) 令和5年6月30日	(第1回変更契約年月日) 令和5年3月14日	近隣の住人から騒音、振動への懸念があり、作業時間を制約したことによる工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 155,248,500円 (変更額) 6,308,500円		(第2回変更契約年月日) 令和5年6月2日	別途発注の下部工事(P1橋脚)において整備した仮設物(仮設道路等)を本工事で撤去したことによる工事費の増
道路建設課 (西部総合事務所 米子県土整備局)	街路両三柳中央線改良工事(8工区)(補助)	米子市 両三柳	株式会社おかだ 代表取締役 岡田 典子	(当初契約額) 77,440,000円	令和4年9月28日 ～ 令和5年3月15日	(当初契約年月日) 令和4年9月27日	—
				(第1回変更後契約額) 87,968,100円 (変更額) 10,528,100円	(変更後工期) 令和5年5月31日	(第1回変更契約年月日) 令和5年3月14日	仮設鋼矢板の打込み不能により、施工工法を変更したことによる工事費の増及び工期の延伸
				(第2回変更後契約額) 89,085,700円 (変更額) 1,117,600円	(変更後工期) 令和5年6月30日	(第2回変更契約年月日) 令和5年5月24日	地元調整により、仮設道路の撤去を本工事で先行実施したことによる工事費の増及び工期の延伸
				(第3回変更後契約額) 119,873,600円 (変更額) 30,787,900円		(第3回変更契約年月日) 令和5年6月27日	水路擁壁施工箇所の地下水位が高かったことから、地下水位低下工法による施工へ変更したことによる工事費の増